

『一秒でも早く要救助者の元へ』

やまもと のぶゆき

寝屋川消防署警備課本署 救助担当 消防士長 山本 信幸(31)

《業務内容》

私が配属されている救助隊（レスキュー隊）は、火災や交通事故、水難事故といった災害はもちろんのこと、震災等の大規模災害や特殊災害等、複雑多様化する災害にも対応しています。そのような災害に直面した要救助者を一人でも多く救出する為に、日々災害を想定し、昼夜を問わず出動に備え、また日々訓練に励んでいます。

過酷な現場環境において要救助者を救出することは簡単なことではありません。しかし、人命救助に特化した救助隊である以上、目の前の要救助者を災害現場から確実に救出することが使命であり、仲間と共に決して諦めない強い気持ちと、「絶対に助ける」という信念をもって仕事に取り組んでいます。



《仕事に対するやりがい》

混沌とした社会情勢が続く中、安定した生活が保障されている公務員に向けられる目は必然的に厳しいものとなり、消防職員も決して例外ではありません。我々は、防災のプロとして日常業務や災害活動での失敗は絶対に許されるものではなく、言動や行動に間違いや誤解が生ずると、市民から厳しい指摘を受けることとなります。それらを未然に防ぐ為、隊が

一丸となって厳しい訓練を重ね、チームワークを強固なものとして災害現場に立ち向かっています。

その結果として、市民の方々から「ありがとう」「おかげさんで助かりました」と言葉をかけて頂いた時にこの仕事のやりがいを感じます。

我々は市民の生命・身体・財産を守ると言う崇高な使命を持った集団です。市民からの感謝の気持ちや期待が原動力であり、それらがより一層訓練に励むことに繋がっています。

